

令和元年6月19日～21日

## 第14回検討会における

## 委員指摘事項への群馬県からの回答について

委員名	構成員指摘内容	群馬県回答 (資料4-2 該当箇所でお答えしている)
羽鳥委員	<u>ナンバー外科の再編</u> ・再編はできたと考えてよいか。	1(1)に記載のとおり、平成27年4月に、外科診療センターのもとに6つの臓器別診療科として再編・統合が完了しています。 また、診療科に合わせ、平成29年4月に大学院医学系研究科の講座も再編しています。
	<u>医療安全に関する取り組み</u> ・コメントが少ないのではないか。	2に改めて記載しました。
小松本委員	<u>インシデントレポート数と医師の提出割合</u> ・大学の規模からみて少ないのではないか。 ・研修会も医師の参加がないと徹底しないのではないか。	2(3)に記載しました。 ・他の大学病院との比較一覧表を記載しました。 ・他の大学病院と比較しても群大病院の医師からの報告数、報告割合は高いと認識しています。 ・医療安全研修会の実施状況及び医師の参加状況を2(6)に記載しました。医師の参加率は100%です。
	<u>職務権限</u> ・どこまで手術ができるかという職務権限を定めているのか。	・国際的な医療機能評価機関であるJCIの認証を取得しておりませんので医師ごとの職務権限は定めておりませんが、1(2)記載のとおり全手術症例について外科診療科合同カンファレンスにおいて討議し最終的に診療科長が決定しています。 ・ハイリスクな症例については、臨床倫理委員会の審議を経て承認しています。
横川委員	<u>インシデント体制</u> ・どのような枠組みになっているのか、事故が起きた際にはどう評価するか一連の流れを示してほしい。 <u>カンファレンス・キャンサーボード</u> ・医師以外のスタッフを含め総合的に評価する枠組みができたか示してほしい。	・インシデント体制については2(3)に記載しました。 ・カンファレンスの実施及び参加者の状況は、1(2)に記載しました。 放射線療法及びがん薬物療法の実施状況についても1(5)、(6)に記載しました。 ・疾患別キャンサーボードの実施及び参加者の状況を1(7)に記載しました。 ・医師以外にも含め総合的に評価する仕組みとなっています。
村本委員	<u>遺族の納得</u> ・全員の遺族の納得が得られて進んでいるのか。	・遺族からは、インフォームド・コンセントの録音やカルテの閲覧開始、医療安全週間やメモリアルデーの設置、患者参加型医療推進委員会の設置など、遺族や患者中心の改革を進めていると評価されています。